

令和4年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）  
分担研究報告書

病院薬剤師の需給推計のためのアンケート調査に関する研究  
研究分担者 白岩 健 国立保健医療科学院 上席主任研究官

研究要旨

本研究においては、病院薬剤師の需要推計に資する手法を開発し、病院薬剤師に係わる医療行政の基礎資料の構築を目的としている。病院薬剤師の業務量の定量的把握にはDPCデータ等の使用が検討されている。うち、DPCデータを用いるにあたって、どのような診療報酬項目を考慮すべきかを検討するための専門家へのアンケート案について作成を行った。アンケート案は3回にわたる班会議での検討を受けて、その議論を具体的な推計方法に落とすために、データベース分析ワーキンググループを招集し、開発デザインの具体案を作成した。病院薬剤師を対象としたアンケート調査を実施することで、DPCデータの活用による薬剤師の需要推定がより精緻化されるものと考えられる。

A. 研究目的

令和3年6月に発出された「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会とりまとめ」では、病院を中心として薬剤師が充足していないとされている。しかし、薬剤師業務は時代の変遷とともに高度化していく一方で、人口減少により患者数そのものは減少傾向となることから、病院薬剤師の確保については、定量的な需給予測等に基づき検討していくことが重要であると考えられる。

本研究においては、病院薬剤師の需要推計に資する手法を開発し、病院薬剤師に係わる医療行政の基礎資料の構築を目的としている。病院薬剤師の業務量の定量的把握にはDPCデータ等の使用が検討されている。うち、DPCデータを用いるにあたって、どのような診療報酬項目を考慮すべきかを検討するための専門家へのアンケート案につい

て作成を行った。

B. 研究方法

令和4年8月1日、11月2日、令和5年2月6日と3回の班会議を開催し、DPCデータを用いる病院薬剤師の需要推計モデルの開発デザインについて協議した。

これら班会議での議論を受けて、その議論を具体的な推計方法に落とすために、国立保健医療科学院の研究員2名を含むデータベース分析ワーキンググループを招集し、開発デザインの具体案を作成した。

C. 研究結果

研究班会議においては、医師、看護師、PT・OTの需給推計法を参考に、診療報酬データの中から病院薬剤師の指標となるものを選定し、各指標の係数や実施割合を推定し、掛け合わせることで必要な薬剤師数

を見積もる手順が提案された。

これらの手法を前提として、指標となる診療報酬項目を同定するために、病院薬剤師を対象とするアンケート案を作成した。

アンケート案の概要については別添の通りである。

#### D. 考察

薬剤師の多様な業務を反映できる DPC データとして、病棟薬剤業務、薬剤管理指導料に加えて取り上げるべき項目を整理した上で、病院薬剤師の需要推計モデルを構築する。最終的には、病院機能による病院薬剤師業務の相違を反映するために DPC データに加えてレセプトデータである NDB データ等を組み合わせて評価することにより、

需要推計モデルの検証を目指すこととした。

#### E. 結論

病院薬剤師を対象としたアンケート調査を実施することで、DPC データの活用による薬剤師の需要推定がより精緻に可能となるものと考えられる。

#### F. 健康危険情報

なし。

#### G. 研究発表

なし。

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

なし。

## 医療需要や医師の働き方等の変化を踏まえた病院薬剤師の需要把握のための研究

### アンケートについて

#### 1. アンケートの目的

病院薬剤師需要推計式にどの診療報酬項目を含め、推計していくかの一定のコンセンサスを得ることを目的とする。特に今回のアンケートでは、推計上明らかに不要と考えられる項目を特定することを主な目的とする。これ以外のさらなる検討が必要な項目については、今回のアンケート結果を踏まえた推計の試算値や再度のアンケートによって整理し、推計式の精緻化を図ることを想定している。

#### 2. 方法

##### 1) 対象

当研究班会議参加者

##### 2) アンケート

病院薬剤師会による「令和4年度病院薬剤部門の現状調査. III. 薬剤師が関連する診療報酬の算定件数等」で取り上げられている診療報酬項目を対象として、以下の設問に回答（別添の Excel へ入力）。

Q1	現時点での社会・医療環境を想定したときに需要を推計する上での各項目の必要度について、薬剤管理指導料を5（必要度が高い）として1-5のうち該当するもの1つを選択してください。  <ねらい> 推計式に含めるべき項目であるかを整理する。
Q2	高齢化率がピークに達する2040年を想定したときに需要を推計する上での各項目の重要度について、薬剤管理指導料を5（最重要）として1-5のうち該当するもの1つを選択してください。  <ねらい> 社会・医療環境が大きく変わることを想定したときに、推計式に含めるべき項目であるかを整理する。
Q3	薬剤師の寄与の影響・アウトカムを評価することで薬剤師需要の増加に資すると期待される項目を最大10個まで選択し、1を最も優先して評価すべきとしたときの順位を選択してください。  <ねらい> アウトカム評価に伴う需要変動が期待され、推計上影響を与えうる項目があるかを整理する。
Q4	病床機能ごとに考えたとき、その病床機能に対し需要を推計する上で必要と考えられる項目に1を入力してください。  <ねらい> 病床機能特異的に、あるいは共通して推計式に含めるべき項目であるかを整理する。 Q1との違いは、病床機能ごとに項目を整理することにフォーカスしている点であり、必要/不要の二値でご判断いただく。